

14 石森山 (いわき市)

環 境

いわき市平の市街地から北方4kmほどの石森山(224m)付近は、保健休養保安林の指定を受けている地域で、市が管理し市民の健康増進のために散策道などを設定している。林は2次林がほとんどで、一部スギの植林地も含まれるが、現在では次第に自然の植生に還元しつつある。

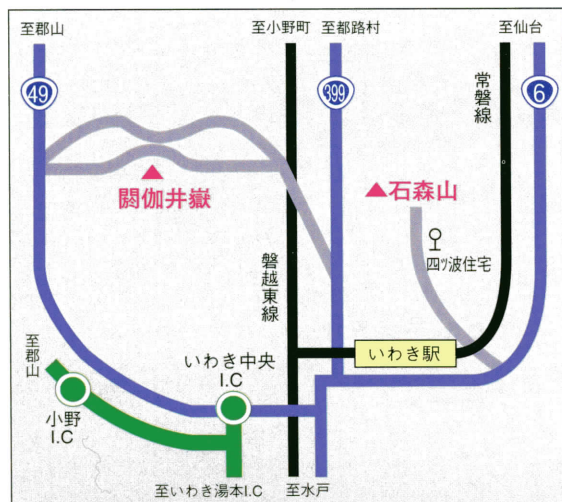
遊歩道は縦横に走り、岩山、谷筋の道、尾根道、湿地などを歩くことができる。これらの遊歩道を歩くことにより、さまざまな鳥に巡り合うことができる。

季 節

深緑、真夏、冬枯れとそれぞれに里山の風情を楽しむことができる。冬から早春にかけてキクイタダキ、ミヤマホオジロ、ルリビタキが姿を見せる。夏にはスギの木立の合間にサンコウチョウが長い尾をなびかせながら歌い、オオルリ、キビタキまでもがそれに合わせて美しい鳴き声を響かせる。秋には旅の途中のアマツバメが上空を飛んで行く。冬、枯葉の間でアカハラやシロハラが、がさごそと餌を探している。沢や尾根の遊歩道を歩くだけで、さまざまな鳥たちに逢えるのは楽しいものである。

交 通

JR常磐線いわき駅(旧平駅)前より四ツ波行き乗車、「四ツ波住宅」下車。忠教寺まで徒歩約30分、そこから散策路入口まで約5分。バスの便は良くないので、車かタクシーの利用がよい。いわき駅より忠教寺まで約20分。



15 関伽井嶽 (いわき市)



環 境

関伽井嶽は人手の入らない自然林で、この地方の自然景観をよく保っている。関伽井嶽薬師の裏手からさらに奥の水石山までの間に車道が伸び、格好の探鳥地になっている。水石山は、山頂全体が芝原で眺望が良く、いわき市のほぼ全体と太平洋を望むことができる。

季 節

関伽井嶽薬師の手前の滝不動から旧参道を登ると、鬱蒼とした杉木立の中を歩くことになり、身の引き締まる思いがする。関伽井嶽薬師の裏から水石山三叉路までの間は道も良く、初夏であればモミの巨木の梢でクロツグミが複雑で軽快な鳴き声を響かせ、谷ではオオルリ、山の斜面ではキビタキのさえずりが楽しめる。ジュウイチやツツドリやの鳴き声も聞かれ、またキツツキ類のアオゲラ、アカゲラ、コゲラのドラミングも山々にこだまする。水石山への三叉路から山頂までは、それまでとは全く景観が異なり、高原の様相を示す。関伽井嶽山頂へは、この三叉路から左の山道へ踏み込むことになる。この山頂には大昔の経堂の跡と伝えられる石組みの土台石がある。

交 通

JR常磐線いわき駅(旧平駅)前から赤井岳行きで終点で下車。徒歩約2時間で関伽井嶽薬師。車では関伽井嶽薬師・水石山山頂まで快適なドライブができる。